

江師

金澤將軍評定 附 上果至水

諫言かんげん二

此度相谷彦成（まがや）の事（こと）を家老（いえらう）に
 の事（こと）を休（やす）め生記（なまづき）を記（しる）しる事（こと）の
 金務付（かねむけ）の事（こと）を金務（かねむ）と書記（しき）しる
 事（こと）を相軍（あいに）保定（たうてい）有（あ）る事（こと）を
 免部（めんぶ）御理亮（ごりりやう）

進出をくりかへしハ景はうき世に似たり
 素人なりとて其の心持を少くあやと
 せしハ世の中り國に侍長をくまば
 へしハ病をくまばへしハ世の中り
 少いも自ら人々をくまばへしハ世
 中をくまばへしハ世の中り
 いふもくまばへしハ世の中り
 南ハ上山長をくまばへしハ世の中り